

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 CHROMID SALMONELLA
 製品コード 424326
 供給者の会社名称 ビオメリュー・ジャパン株式会社
 住所 東京都港区赤坂二丁目17番7号赤坂溜池タワー2階
 電話番号 03-6834-2666
 FAX番号 03-6834-2667
 推奨用途 試薬

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性 生殖毒性 区分1B
 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
 危険有害性情報 H360D 胎児への悪影響のおそれ
 注意書き
 安全対策 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
 応急措置 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
N-メチル-2-ピロリドン	<1%	C5H9NO	(5)-113	既存	872-50-4
物質(その他)	99-<100%	不明	不明	不明	不明

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合
眼に入った場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
 直ちに多量の流水で15分以上目を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
 大量に飲み込んだ場合、直ちに中毒110番に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、霧状水、棒状水。

使ってはならない消火剤

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法 通常の消火手順に従う。火災の影響を受ける他の物質の危険性も考慮すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 火災の際、自給式呼吸器及び完全な保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項 人を安全な場所に退避させる。漏出物を河川や下水及び地表/地面に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 可能な場合は漏出物をせき止める。取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意事項

取扱い 技術的対策 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
使用前に取扱説明書入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
可能であれば、閉鎖システム内で取り扱うこと。
十分に換気すること。

安全取扱注意事項 長時間のばく露を避けること。
妊娠中、授乳中は接触を避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

保管 接触回避 『10. 安定性及び反応性』を参照。
安全な保管条件 『10. 安定性及び反応性』を参照。
安全な容器包装材料 他の物質から離して保管すること。
元の容器に密閉して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
N-メチル-2-ピロリドン	未設定	1ppm(4mg/m ³)(皮)	未設定

設備対策 蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具 呼吸用保護具 必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具 ニトリル製保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具 側面付き保護眼鏡もしくはゴーグルの着用。

皮膚及び身体の保護具 保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 固体

形状 固体、ゲル状

色 淡黄色

臭い データなし

融点/凝固点 データなし

沸点又は初留点及び沸点 データなし

範囲

可燃性 データなし

爆発下限界及び爆発上限 下限 データなし

界/可燃限界 上限 データなし

引火点 データなし

自然発火点 データなし

分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配		N-メチル-2-ピロリドン: -0.38
係数		
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		1.03 g/cm ³ (推定)
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性		通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性		一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件		混触危険物質との接触。
混触危険物質		強酸化剤
危険有害な分解生成物		危険有害な分解生成物は知られていない。
11. 有害性情報		
急性毒性(経口)	N-メチル-2-ピロリドン	ラット LD50値 : 3914 mg/kg
急性毒性(経皮)	N-メチル-2-ピロリドン	ウサギ LD50値 : 8000 mg/kg
皮膚腐食性／皮膚刺激性		データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		データ不足のため分類できない。
呼吸器感受性		データ不足のため分類できない。
皮膚感受性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		胎児への悪影響のおそれ
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データ不足のため分類できない。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期(急性)		データなし
水生環境有害性 長期(慢性)		データなし
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		製品の残余物が残っている可能性があるため、容器が空になった後もラベルの警告に従うこと。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装		容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	非該当 Not applicable Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属 書II 及びIBC コードに よるばら積み輸送さ れる液体物質 航空規制情報	非該当 非該当 非該当 非該当 非該当 非該当
緊急時応急措置指針番号		非該当 なし
15. 適用法令		
労働安全衛生法		名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) N-メチル-2-ピロリドン(政令番号:588の2)
毒物及び劇物取締法		非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)		非該当
化審法		優先評価化学物質(法第2条第5項)
大気汚染防止法		揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
海洋汚染防止法		有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
外国為替及び外国貿易法		輸出貿易管理令別表第1の16の項
16. その他の情報		
連絡先		【臨床製品 問い合わせ先】0120-265-034 【産業製品 問い合わせ先】0120-022-328 【Website】 http://www.biomerieux.co.jp/
参考文献		bioMérieux SDS(2022-06-03) NITE-CHRIP(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム) JIS Z 7253 :2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
その他		ezSDS 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。